



リヤド日本人学校

学校だより 5 月号

2026年(令和8年) 5月13日

今日の一言:日本人学校の輪が世界に広がりました!

本校在籍児童生徒数(5月1日現在) 小学部4名, 中学部3名オアシス学級1名 計 8名

5月の生活目標:『オンラインの授業になれよう』 【準備をしよう 反応や質問をしよう】

今しかできないこと

校長 栗村 洋子

オンラインでの授業が始まって1ヶ月。初めはどうなるのかと心配しましたが、始めてみるとまず今できることを駆使して「できるだけわかりやすく、そして楽しく」なることをめざし、取り組んでいます。

4月15日(水)には、今年度初めての全校集会を行いました。私が担当いたしました。オンラインでつながっている子どもたち、教員は、日本全国、そしてリヤドにまで広がっています。初めに、今、どこにいるのかを地図で確認しました。そして、私のふるさと、徳島県の「阿波おどり」の紹介をしました。音に合わせて動きながら、少しずつ阿波おどりに近づいていきます。世界中に広がっているリヤドの仲間でも「阿波おどり」を楽しむことができました。自分のふるさとの踊りを画面越しとはいえ、みんなで楽しむことができ、うれしく思いました。

2回目は4月22日(水)、遠藤教諭です。今、宮城県仙台市で国内待機中です。この日を迎えるまでは、博物館の紹介をしようと考えていましたが、度重なる地震で、今回は「防災」について子どもたちに話すことにしました。遠藤教諭は、東北の震災を経験しています。地震が起こったら、どういう状況になるのか、何をすればよいのか、自分の体験から子どもたちに伝えました。遠藤教諭自身も、担任をしていた子どもたちやそのご家族が被災し、当時の厳しい状況や辛い気持ちを話しました。防災について、そして東北の震災について改めて考える機会となりました。


また、日々行われるオンラインでの授業では、教員で知恵を出し合いながら、より分かりやすく、楽しくなる工夫を重ねています。いくつかご紹介します。

オアシス学級 担任 高橋 一博

直接、会ったことがないので、リラックスした雰囲気を作る工夫をしています。1つ目は、注意力が散漫にならない程度に絵を張りました。児童が好きな、動物が勉強している絵です。一緒に勉強している仲間がいるよ、というメッセージを込めました。2つ目は、パソコンの下に分厚い本を置いて、顔の映像が少しでも正面に近づくようにして、なるべく自然に話をしているようにしました。直接会わずに授業をするのはとても難しいですが、これからも児童との距離が少しでも近づく工夫をしていきたいです。



リヤド日本人学校は、できる限り全員が漢検を受検することを努力義務としています。オンライン授業の中でも、web 問題集を活用して受検に向けて取り組んでいます。今年度1回は受験できませんが、第2回、第3回に向けて頑張っています。

辞典オンライン

漢字検定 WEB問題集.

 1級	 準1級	 2級	 準2級
---	--	---	--

問1	政治的な 圧力 をかけられる。
<input type="button" value="正解表示→"/>	
問2	商品一個あたりの 利益 を計算する。
<input type="button" value="正解表示→"/>	
問3	固体と 液体 。
<input type="button" value="正解表示→"/>	

5月の行事予定		
5月3日	日	憲法記念日
5月4日	月	みどりの日
5月5日	火	子どもの日
5月6日	水	振替休日

5月13日	水	全校集会
5月14日	木	職員会議
5月18日	月	職員研修
5月20日	水	全校集会
5月27日	水	全校集会

